



給食だより

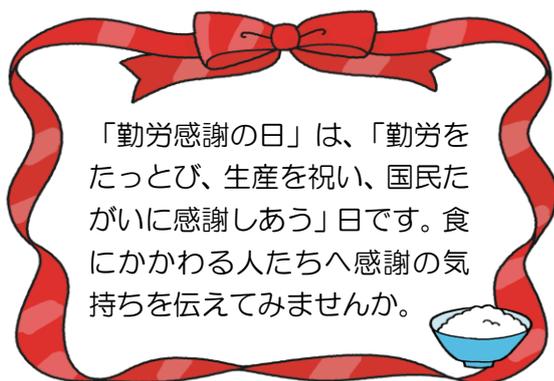


11月

わたしたちは食べることでエネルギーや栄養素をとり入れて、生きています。食べることは、ほかの生き物たちの命をいただくことであり、生命のつながりによって成り立っています。食べ物を大切に、感謝の心を持って食べましょう。



11月23日は 勤労感謝の日



「勤労感謝の日」は、「勤労をたっとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」日です。食にかかわる人たちへ感謝の気持ちを伝えてみませんか。



地場産物を食べて

地産地消！



地域で生産された食材をその地域で消費することを地産地消といいます。生産者の顔が見るので安心して買えます。また、遠くから輸送しないので、新鮮な状態で手に入り、環境への負担も減らせます。

10月7日(火)に給食試食会を行いました

35名の保護者の方にご参加いただきました。試食会では、給食に関する動画を見ていただき、調理校である石原小学校の落合栄養士も来ていただき説明してもらいながら、子どもたちの健康を考えた栄養バランスの良い給食を実際に味わっていただきました。また、各クラスを訪問し給食風景もご覧いただきました。給食の分量や味付けなど、給食についてさまざまなご意見、ご感想をいただく貴重な機会となりました

今後も安心、安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。



ゲゲゲ忌給食

～水木マンガの生まれた街 調布～

「ゲゲゲの鬼太郎」の作者である漫画家・水木しげるさんは調布市の名誉市民です。鳥取県境港市で育ち、昭和34年から93歳で亡くなるまでの56年間を調布市で過ごしました。

調布市では、水木しげるさんの功績を称え命日である11月30日を「ゲゲゲ忌」とし、様々な催しが行われています。そこで、給食でもゲゲゲ忌献立とし、鬼太郎に登場するキャラクターをイメージした『ぬりかべトースト』『めだまのおやしゼリー』、水木しげるさんが育った鳥取県の『芋こん鍋』、鳥取県の給食人気メニュー『スタミナ納豆』を献立に取り入れています。

